





鳥取県に関するイメージ調査 (抜粋)

平成27年2月

※数表内の網掛け

-  全体値より10%以上高いもの
-  全体値より5%以上高いもの
-  全体値より5%以上低いもの
-  全体値より10%以上低いもの

但しN=30未満は除く。

(以降のページも同様。)

対象者プロフィール①

エリア(居住地)

		(%)													
		東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	愛知県	大阪府	兵庫県	京都府	広島県	岡山県	愛媛県	香川県	徳島県	福岡県
2011年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
2012年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
2013年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
2014年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6

【対象者: 全員】

性別

		(%)		
		男性	女性	
2011年全体	(5400)	50.0	50.0	
2012年全体	(5400)	50.0	50.0	
2013年全体	(5400)	49.9	50.1	
2014年全体	(5400)	50.0	50.0	
エリア	首都圏	(2400)	50.0	50.0
	関西圏	(900)	50.0	50.0
	中京	(300)	50.0	50.0
	中国・四国	(1500)	50.0	50.0
	九州圏	(300)	50.0	50.0

【対象者: 全員】

年代

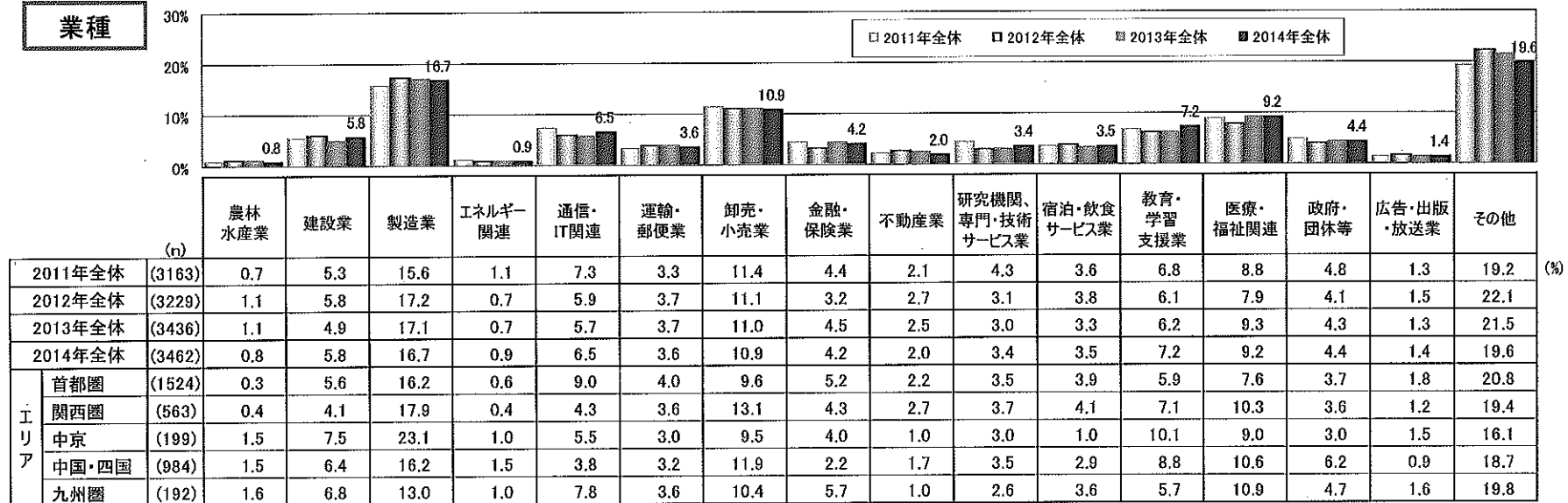
		(%)					
		10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
2011年全体	(5400)	13.0	20.3	16.7	16.7	16.7	16.7
2012年全体	(5400)	11.0	22.3	16.7	16.7	16.7	16.7
2013年全体	(5400)	9.3	23.6	17.1	16.7	16.7	16.7
2014年全体	(5400)	6.6	26.2	17.1	16.7	16.7	16.7
エリア	首都圏	(2400)	6.4	26.9	16.7	16.7	16.7
	関西圏	(900)	9.7	23.7	16.7	16.7	16.7
	中京	(300)	12.3	21.0	16.7	16.7	16.7
	中国・四国	(1500)	3.3	28.3	18.4	16.7	16.7
	九州圏	(300)	10.3	23.0	16.7	16.7	16.7

【対象者: 全員】

対象者プロフィール②

職業		(%)									
(n)		自営業	会社役員・団体役員	会社員	公務員・団体職員	パート・アルバイト	学生	専業主婦/主夫	無職	その他	
2011年全体	(5400)	6.2	2.5	31.7	5.4	10.7	15.3	17.3	8.8	2.0	
2012年全体	(5400)	7.0	3.0	31.1	4.5	11.7	13.3	17.4	9.5	2.5	
2013年全体	(5400)	6.4	2.6	34.3	5.9	12.4	10.7	16.7	9.0	2.1	
2014年全体	(5400)	5.9	2.3	35.3	6.2	12.4	9.4	16.6	9.9	2.2	
エリア	首都圏	4.8	2.1	37.6	4.8	12.3	9.4	17.9	9.2	2.0	
	関西圏	6.7	1.9	32.2	5.3	14.2	13.7	14.3	9.4	2.2	
	中京	7.3	1.7	35.3	7.0	13.0	12.7	15.0	6.0	2.0	
	中国・四国	7.0	2.7	33.1	9.0	11.6	5.9	16.6	11.9	2.2	
	九州圏	5.0	3.7	36.0	4.7	11.0	10.7	14.7	10.7	3.7	

【対象者: 全員】



【対象者: 有職者】

対象者プロフィール③

世帯年収		(%)							
(n)		~100万円未満	100万円以上~ 300万円未満	300万円以上~ 500万円未満	500万円以上~ 700万円未満	700万円以上~ 1,000万円未満	1,000万円以上~ 1,500万円未満	1,500万円以上	
2011年全体	(5400)	10.0	16.6	27.3	19.4	15.7	8.0	3.0	
2012年全体	(5400)	11.8	17.5	25.9	18.9	15.9	7.6	2.5	
2013年全体	(5400)	8.2	16.9	27.2	19.8	17.1	8.0	2.8	
2014年全体	(5400)	10.0	18.7	28.0	18.4	14.2	8.1	2.6	
エリア	首都圏	(2400)	9.2	16.0	26.4	19.2	15.6	10.3	3.3
	関西圏	(900)	12.2	18.3	31.0	17.7	12.6	6.3	1.9
	中京	(300)	9.3	18.0	20.3	20.3	21.3	8.7	2.0
	中国・四国	(1500)	10.1	22.0	30.9	17.3	12.1	5.7	1.9
	九州圏	(300)	10.7	25.7	25.7	17.7	11.0	6.7	2.7

【対象者: 全員】

1-1. 鳥取県への訪問経験

- ◆ 『鳥取県』への訪問経験をみると、「訪れたことがある」人(49%)と、「一度も行ったことがない」人(50%)が、ほぼ半数ずつに二分される。また、「居住したことがある」人が1%みられた。
- ◆ 時系列比較でみると、2011年、2013～2014年の訪問経験率は半数程度でほぼ同水準。2012年の訪問経験率が若干低い。
 - エリア別でみると、中国・四国《広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県》と関西圏《大阪府・兵庫県・京都府》では訪問経験者が7割強で、他エリアに比べて高い。一方、首都圏《東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県》、中京《愛知県》、九州圏《福岡県》の訪問経験率が相対的に低い。特に首都圏では3割にとどまる。
 - エリア×年代別でみると、どのエリアも総じて高年層ほど訪問経験率も高い傾向がみられ、特に60代以上で顕著となっている。

Q5. あなたは、鳥取県を訪れたことがありますか。(ひとつだけ)

訪問経験あり or
(%) 居住経験あり計

訪問経験あり or
(%) 居住経験あり計

	(n)	訪問経験あり or 居住経験あり計 (%)			合計 (%)
		訪れたことがある	居住したことがある	一度も行ったことがない	
2011年全体	(5400)	49.5	0	49.6	50.4
2012年全体	(5400)	44.2	0	54.9	45.1
2013年全体	(5400)	48.1	0	51.2	48.8
2014年全体	(5400)	48.9	0	50.3	49.7
エリア×年代					
首都圏	(2400)	29.6	3	70.1	20.9
10代	(154)	17.5	0	81.8	18.2
20代	(646)	21.1	3	78.6	21.4
30代	(400)	23.5	0	76.5	28.5
40代	(400)	29.0	3	70.8	29.3
50代	(400)	32.0	0	67.5	32.5
60代以上	(400)	52.3	0	47.3	52.8
関西圏	(900)	70.0	0	29.1	70.9
10代	(87)	39.1	0	59.8	40.2
20代	(213)	60.1	0	37.6	62.4
30代	(150)	68.0	0	31.3	68.7
40代	(150)	76.7	0	23.3	76.7
50代	(150)	82.7	0	16.7	83.3
60代以上	(150)	84.7	0	15.3	84.7
中京	(300)	38.0	0	61.3	38.7
10代	(37)	21.6	0	75.7	24.3
20代	(63)	31.7	0	68.3	31.7
30代	(50)	44.0	0	54.0	46.0
40代	(50)	32.0	0	68.0	32.0
50代	(50)	38.0	0	62.0	38.0
60代以上	(50)	58.0	0	42.0	58.0

	(n)	訪問経験あり or 居住経験あり計 (%)			合計 (%)
		訪れたことがある	居住したことがある	一度も行ったことがない	
2011年全体	(5400)	49.5	0	49.6	50.4
2012年全体	(5400)	44.2	0	54.9	45.1
2013年全体	(5400)	48.1	0	51.2	48.8
2014年全体	(5400)	48.9	0	50.3	49.7
エリア×年代					
中国・四国	(1500)	70.5	0	28.1	71.9
10代	(49)	36.7	0	59.2	40.8
20代	(425)	58.8	0	39.8	60.2
30代	(278)	69.2	0	30.4	69.8
40代	(250)	72.4	0	25.6	74.4
50代	(250)	80.0	0	18.8	81.2
60代以上	(250)	87.2	0	11.2	88.8
九州圏	(300)	49.7	0	55.7	44.3
10代	(31)	29.0	0	71.0	29.0
20代	(69)	40.8	0	58.0	42.0
30代	(50)	34.0	0	66.0	34.0
40代	(50)	44.0	0	54.0	46.0
50代	(50)	48.0	0	52.0	48.0
60代以上	(50)	62.0	0	38.0	62.0

【対象者: 全員】

1-2. 鳥取県在住の家族・親戚・友人の有無

◆ 家族や親戚、友人などの中で『鳥取県』に住んでいる人が「いる」と回答した人は11%。

◆ 時系列でも、この4年間であまり動きはなく、ほぼ同様の傾向。

- エリア別で見ると、関西圏、中国・四国で家族や親戚・友人が「いる」の割合がやや高い。
- エリア×年代別では、関西圏、中国・四国の近隣地域における10代・20代の若年層で、「いる」割合が2割前後と高めの傾向。

Q6. あなたの家族や親戚、友人で鳥取県に住んでいる人がいますか。(ひとつだけ)

		(n)	いる	いない	(%)
2011年全体		(5400)	12.0	88.0	
2012年全体		(5400)	9.4	90.6	
2013年全体		(5400)	10.9	89.1	
2014年全体		(5400)	10.9	89.1	
エリア×年代	首都圏	(2400)	8.0	92.0	
	10代	(154)	9.1	90.9	
	20代	(646)	9.9	90.1	
	30代	(400)	7.8	92.3	
	40代	(400)	5.8	94.3	
	50代	(400)	7.3	92.8	
	60代以上	(400)	7.5	92.5	
	関西圏	(900)	14.8	85.2	
	10代	(87)	23.0	77.0	
	20代	(213)	19.2	80.8	
	30代	(150)	14.0	86.0	
	40代	(150)	12.0	88.0	
	50代	(150)	13.3	86.7	
	60代以上	(150)	8.7	91.3	
	中京	(300)	6.7	93.3	
	10代	(37)	8.1	91.9	
	20代	(63)	4.8	95.2	
	30代	(50)	10.0	90.0	
	40代	(50)	8.0	98.0	
	50代	(50)	11.0	89.0	
	60代以上	(50)	12.0	88.0	

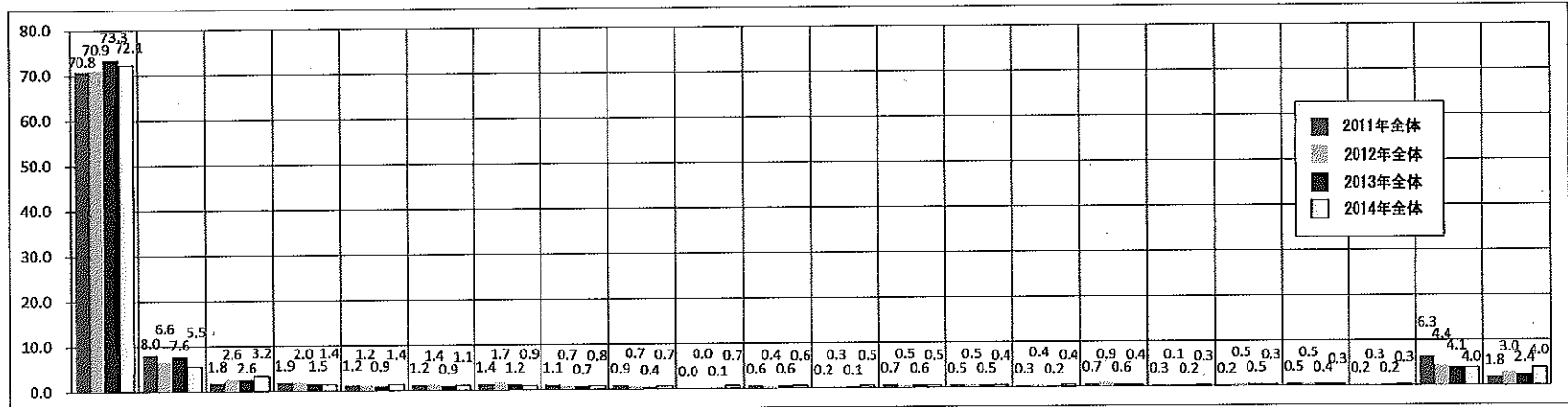
		(n)	いる	いない	(%)
2011年全体		(5400)	12.0	88.0	
2012年全体		(5400)	9.4	90.6	
2013年全体		(5400)	10.9	89.1	
2014年全体		(5400)	10.9	89.1	
エリア×年代	中国・四国	(1500)	14.8	85.2	
	10代	(49)	16.3	83.7	
	20代	(425)	20.9	79.1	
	30代	(276)	11.0	89.0	
	40代	(250)	10.4	89.6	
	50代	(250)	11.2	88.8	
	60代以上	(250)	15.6	84.4	
	九州圏	(300)	7.3	92.7	
	10代	(31)	12.9	87.1	
	20代	(69)	14.5	85.5	
	30代	(50)	6.0	94.0	
	40代	(50)	4.0	96.0	
	50代	(50)	4.0	96.0	
60代以上	(50)	8.0	92.0		

【対象者：全員】

2-1. 『鳥取県』と言われて連想されるもの

◆ 『鳥取県』と言われて連想するものとして「鳥取砂丘」(73%)が突出して高く、2011年当初から同様の傾向にある。
 > 「砂漠」「砂」「らくだ」など、「鳥取砂丘」を連想させるキーワードも上位に上がっている。

Q11. 最近の鳥取県の話に関するものです。あなたが聞いたことのあるもの全てを選んでください。(いくつでも)



9

(n)	鳥取砂丘	二十世紀梨	砂漠	大山	かに(松葉がに)	海(日本海)	ゲゲゲの鬼太郎	らっきょう	温泉	スタバ(スタバが無い)	出雲大社(出雲)	砂	鳥	田舎	鳥根の隣(右)	水木しげる(ロード)	らくだ	過疎化(人口が少ない)	境港	自然	その他	わからない	
2011年全体 (5,400)	70.8	8.0	1.8	1.9	1.2	1.2	1.4	1.1	0.9	-	0.6	0.2	0.7	0.5	0.3	0.7	0.3	0.2	0.5	0.2	6.3	1.8	
2012年全体 (5,400)	70.9	8.6	2.6	2.0	1.2	1.4	1.7	0.7	0.7	0.0	0.4	0.3	0.5	0.5	0.4	0.9	0.1	0.5	0.5	0.3	4.4	3.0	
2013年全体 (5,400)	73.3	7.8	2.6	1.5	0.9	0.9	1.2	0.7	0.4	0.1	0.6	0.1	0.6	0.5	0.2	0.6	0.2	0.5	0.4	0.2	4.1	2.4	
2014年全体 (5,400)	72.1	5.5	3.2	1.4	1.4	1.1	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	4.0	4.0	
エリア																							
首都圏 (2,400)	73.2	4.1	3.9	0.6	0.8	1.0	0.6	0.9	0.2	0.7	0.7	0.4	0.9	0.3	0.6	0.4	0.3	0.6	0.2	0.4	4.1	5.2	
関西圏 (900)	70.6	9.0	3.1	1.6	2.0	1.1	1.0	0.7	1.4	0.9	0.1	0.6	0.2	0.4	0.2	0.4	0.5	-	0.3	0.2	2.7	3.1	
中京圏 (300)	77.2	2.2	4.1	0.9	0.6	0.9	0.9	1.3	-	0.6	1.6	0.9	0.3	0.6	0.6	-	0.6	0.3	0.3	-	2.5	3.2	
中国・四国 (1,500)	70.0	6.6	2.6	2.8	2.3	1.3	1.3	0.7	1.2	0.4	0.4	0.6	0.2	0.5	0.3	0.6	0.2	0.2	0.6	0.4	4.1	3.0	
九州圏 (300)	74.1	3.7	1.2	1.2	0.3	0.9	1.2	0.9	0.3	0.6	0.6	1.2	0.3	0.9	-	0.3	0.3	-	-	-	8.0	3.4	

【対象者:全員】

2-2. 鳥取県の色

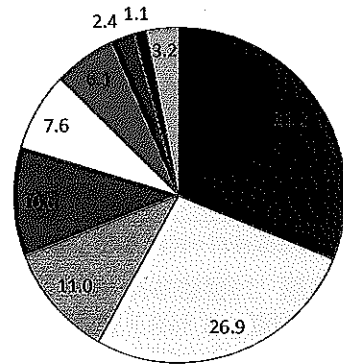
- ◆ 『鳥取県』を色で表現するものとして、「ブラウン系」(31.2%)と「イエロー系」(26.9%)で全体の過半数を占めている。以下、「グレー系」(11%)、「グリーン系」(10.6%)、「ホワイト系」(7.6%)と続く。
- ◆ 時系列で見ると、2012年から「ブラウン系」が1位で、2011年以降全体に占める比率が高くなる傾向をみせている。

Q11. 鳥取県を色で表現するとすれば何色でしょうか。(自由回答)

(n)		ブラウン系	イエロー系	グレー系	グリーン系	ホワイト系	ブルー系	レッド系	その他	特にならぬ・特になぬ	(%)	
2011年全体	(5400)	25.7	28.9	12.3	11.7	9.7	8.3	2.4	1.9	1.6		
2012年全体	(5400)	28.7	27.2	12.6	11.9	8.3	6.4	2.0	1.3	1.6		
2013年全体	(5400)	30.1	27.0	10.7	12.1	8.4	6.0	2.0	1.7	2.0		
2014年全体	(5400)	31.2	26.9	11.0	10.6	7.6	6.1	2.4	1.1	3.2		
エリア	首都圏	(2400)	32.4	27.8	12.2	8.4	6.6	5.1	2.6	1.3	3.7	
	関西圏	(900)	32.6	26.3	7.1	15.7	7.6	5.8	1.5	0.4	3.0	
	中京	(300)	32.0	30.0	9.9	9.6	6.9	5.0	3.0	1.0	2.6	
	中国・四国	(1500)	27.9	25.1	11.6	11.8	9.2	8.3	2.4	0.9	2.8	
	九州圏	(300)	33.6	26.6	11.5	7.9	7.9	5.9	1.6	1.6	3.3	

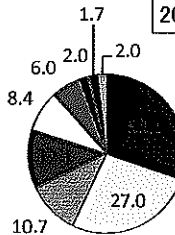
【対象者: 全員】

2014年全体

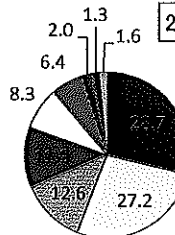


- ブラウン系
- イエロー系
- ▨ グレー系
- グリーン系
- ホワイト系
- ブルー系
- レッド系
- その他
- わからない・特になぬ

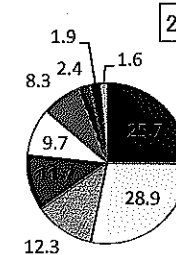
2013年全体



2012年全体



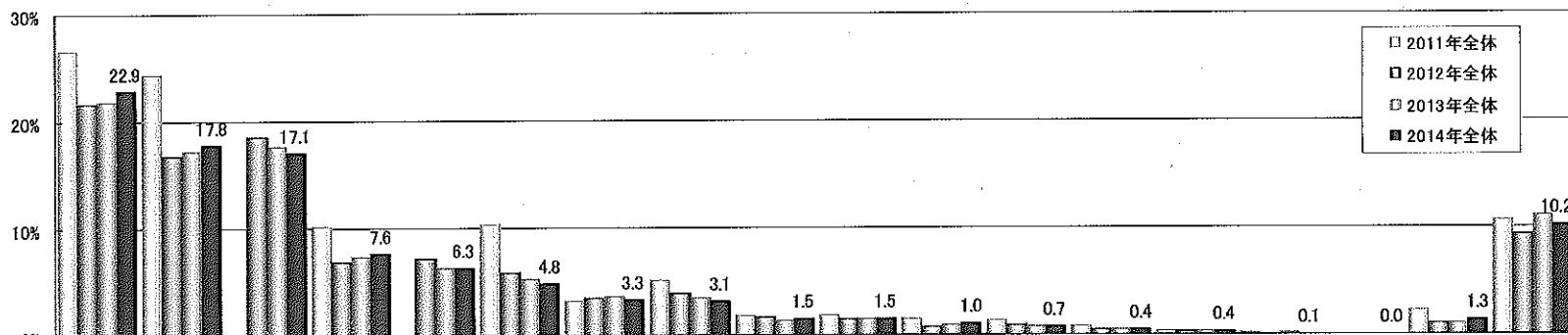
2011年全体



2-3. 鳥取県に対するイメージ

- ◆ 『鳥取県』に対して抱いているイメージは、「田舎」(23%)、「地味」(18%)、「のんびり」(17%)がトップ3。以下、「遠い」(8%)、「過疎」(6%)、「美しい」(5%)の順で続くが、イメージ的には弱い。
- ◆ 時系列で見ると、上位イメージを筆頭に、直近の3年間のイメージ醸成はほとんど変わらない。
- エリア別にみると、中京で「田舎」イメージがやや高い。一方、九州圏では「遠い」イメージは希薄。

Q8. あなたが鳥取県に対して持っているイメージに最も当てはまるものを、1つ選んでください。(ひとつだけ)



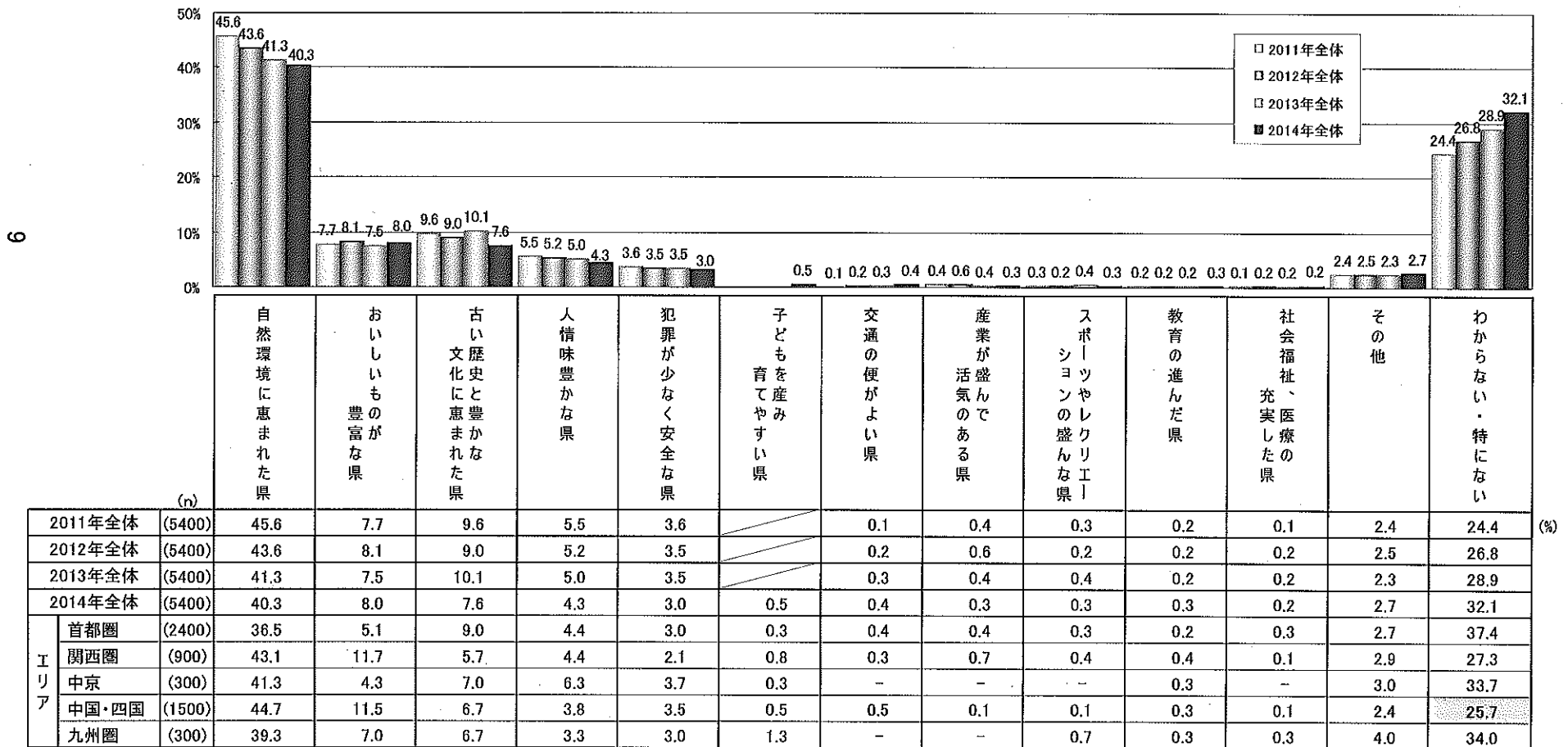
		(n)	田舎	地味	のんびり	遠い	過疎	美しい	暗い	保守的	明るい	閉鎖的	安全	開放的	活気がある	貧しい	国際的	先進的	その他	わからない・特にない
2011年全体		(5400)	26.5	24.3	10.2	10.3	3.1	5.1	1.7	1.9	1.4	1.3	0.7	0.4	0.1	0.1	2.2	10.6		
2012年全体		(5400)	21.7	16.8	18.5	6.9	7.1	5.9	3.5	3.9	1.7	1.5	0.7	0.8	0.5	0.4	0.0	-	1.1	9.2
2013年全体		(5400)	21.7	17.2	17.7	7.3	6.2	5.3	3.6	3.5	1.4	1.5	0.9	0.8	0.4	0.3	0.1	0.0	1.1	11.1
2014年全体		(5400)	22.9	17.8	17.1	7.6	6.3	4.8	3.3	3.1	1.5	1.5	1.0	0.7	0.4	0.4	0.1	0.0	1.3	10.2
エリア	首都圏	(2400)	18.5	16.8	15.7	11.9	6.8	4.9	3.3	2.7	1.5	1.3	1.0	0.9	0.5	0.4	0.1	-	1.1	12.8
	関西圏	(900)	25.9	18.4	20.3	2.6	6.1	5.2	2.3	3.4	2.3	0.9	1.1	0.8	0.8	0.4	-	-	1.2	8.1
	中京	(300)	29.3	19.0	15.0	11.0	5.3	4.0	1.0	2.3	1.0	0.7	1.3	-	-	-	-	-	1.0	9.0
	中国・四国	(1500)	26.1	18.6	17.9	4.0	5.6	5.0	4.3	3.3	1.3	2.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.1	0.1	1.7	7.3
	九州圏	(300)	27.0	18.3	16.0	2.3	7.7	3.3	4.0	4.7	0.7	2.0	0.7	0.3	-	-	-	-	1.7	11.3

【対象者:全員】

2-4. 鳥取県に最もあてはまる県のイメージ

- ◆ 『鳥取県』に対して最もあてはまると思うイメージをみると、「自然環境に恵まれた県」(40%)が圧倒的に高い。以下、「おいしいものが豊富な県」(8%)、「古い歴史と豊かな文化に恵まれた県」(8%)などが1割弱で続く。一方、ほぼ3人に1人が「わからない・特にない」と回答している。
- ◆ 時系列でみると、トップイメージの「自然環境に恵まれた県」は微減傾向。逆に「わからない・特にない」が年々増えているのが懸念される。
 - エリア別では、中国・四国で「わからない・特にない」がやや低くイメージ醸成が広がっている。一方、首都圏では「わからない・特にない」が4割近くみられる。

Q9. あなたは鳥取県をどのような県だと思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

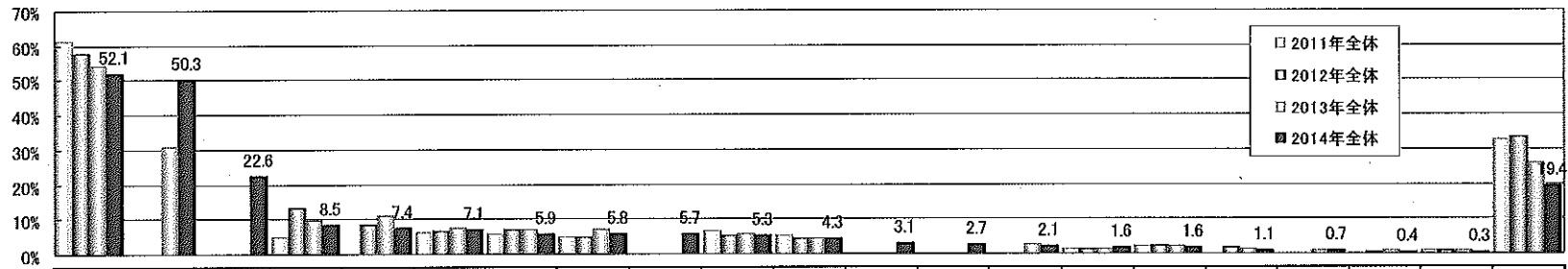


【対象者: 全員】

3-1. 見聞きしたことのある鳥取県に関する話題

- ◆ 最近の『鳥取県』に関する話題で聞いたことがあるのは、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」(52%)と「スターバックスが全国で唯一無い県」(50%)が双璧。次いで、新規項目の「鳥取砂丘コナン空港の愛称化」(23%)が続く。それ以外はいずれも1割に満たない。
- ◆ 時系列で見ると、「スターバックスが全国で唯一無い県」が20ポイント上昇、浸透度が広がる。一方、「ひとつもない」が2012年以降で減少傾向。
 - エリア別にみると、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」は中国・四国で特に高く、首都圏では4割強にとどまる。

Q11. 最近の鳥取県の話題に関するものです。あなたが聞いたことのあるもの全てを選んでください。(いくつでも)



10

	(n)	ゲゲゲのふるさと鳥取県	スターバックスが全国で唯一無い県	鳥取砂丘コナン空港の愛称化	まんが王国とっとり	美術館「グラランドオーブンの	全天候型砂像展示施設「砂の	山陰海岸ジオパークの世界	ジオパークネットワーク加盟	大山高原スマートIC(米子自動車道)の	開通	鳥取自動車道(姫路鳥取線)の	全線開通(無料)	鳥取県ウエルカニ(キャンベリン)	鳥取県唯一のJ加盟サッカー	クラブ「ガイナレ鳥取」	食のみやこ鳥取県	鳥取、岡山共同アンテナ	シヨップ(とっとり・おかやま新橋館)のオープン	鳥取の民芸・民芸品	スカイマークによる航空便路線の新規就航	子育て王国とっとり	鳥取方式の芝生化	鳥取美人物語	全国初となる手話言語条例の制定	とっとりグリーンウェイブ	(北東アジアゲートウェイ)	環日本海圏航路	ひとつもない	(%)
2011年全体	(5400)	61.2			4.6		6.3	5.9	4.9		6.7	5.4					1.2	2.1									0.8	32.7		
2012年全体	(5400)	57.5			13.4	8.2	6.8	7.0	5.0		5.4	4.5					1.3	2.1	1.7							0.6	0.7	33.4		
2013年全体	(5400)	54.2	30.7		9.7	11.2	7.7	7.1	6.9		5.7	4.6					2.4	1.2	2.1	1.1	1.0	0.7	0.9	0.9	0.7	0.9	0.3	25.8		
2014年全体	(5400)	52.1	50.3	22.6	8.5	7.4	7.1	5.9	5.8	5.7	5.3	4.3	3.1	2.7	2.1	1.6	1.6	1.1	0.7	0.4	0.3	1.9	1.6	1.1	0.7	0.4	0.3	19.4		
エリア	首都圏	(2400)	41.3	48.5	21.4	5.1	4.1	3.2	2.3	2.5	5.5	5.3	4.3	1.9	2.3	2.0	0.8	1.2	1.1	0.6	0.3	0.2	24.8			0.6	0.3	0.2	24.8	
	関西圏	(900)	59.6	49.6	23.2	11.8	10.8	16.4	7.6	9.8	4.1	5.4	6.2	1.4	3.4	3.4	2.1	1.9	1.2	0.7	0.6	0.6	14.9			0.6	0.6	14.9		
	中京	(300)	44.3	51.3	24.7	6.0	4.3	3.7	3.3	3.3	5.3	2.3	3.0	1.7	2.7	1.0	0.7	1.3	0.7	-	0.7	0.3	18.7			0.7	0.3	18.7		
	中国・四国	(1500)	66.6	54.1	24.4	13.5	11.3	9.5	12.0	9.3	7.4	6.0	4.1	6.7	2.5	2.1	2.5	2.0	1.1	0.9	0.4	0.3	12.5			0.4	0.3	12.5		
	九州圏	(300)	51.3	47.3	18.7	4.0	7.3	2.0	2.3	5.0	5.0	3.7	2.0	0.7	4.3	1.0	2.3	1.7	0.7	1.3	0.7	0.3	25.0			0.7	0.3	25.0		

※「鳥取自動車道(姫路鳥取線)の全線開通(無料)」は、2011年は「鳥取自動車道の県内区間無料開放」で聴取

【対象者: 全員】

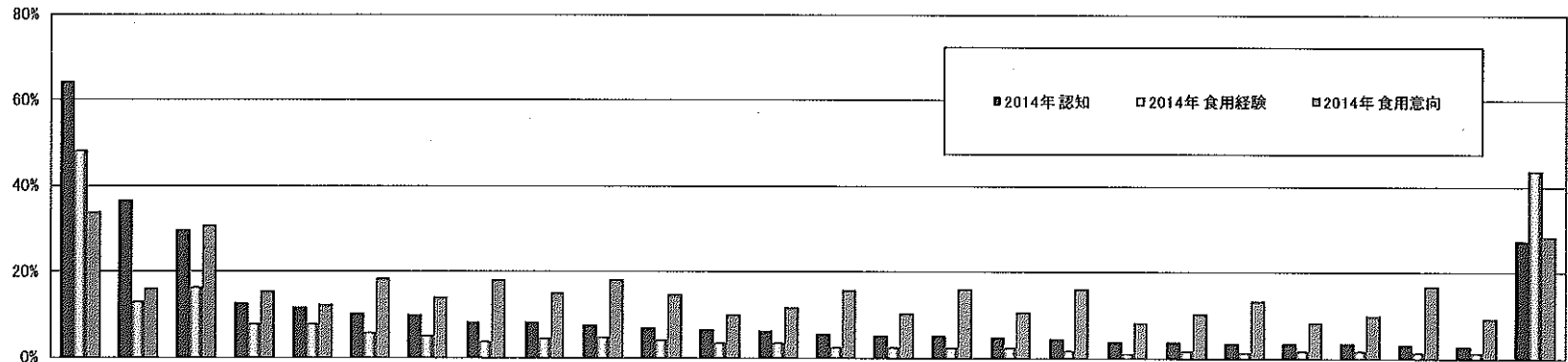
※「大山高原スマートIC(米子自動車道)の開通」は、2011年は「スマートICの開通大山高原」で聴取。「山陰で唯一のJ加盟サッカークラブ「ガイナレ鳥取」は、2011年・2012年は「ガイナレ鳥取のJ2リーグ昇格」で聴取。

3-2. 鳥取県の「特産物」の認知・食用経験・食用意向 (1) 全体一覽

- ◆ 『鳥取県』の「特産物」として特に認知率が高いのは「二十世紀梨」(64%)。「砂丘らっきょう」(36%)、「松葉がに(ズワイガニ)」(30%)が続く。
- ◆ 食用経験がある「特産物」でも「二十世紀梨」(48%)が高く、「松葉がに(ズワイガニ)」(16%)、「砂丘らっきょう」(13%)が2・3位。
- ◆ 食べてみたいものでは、「二十世紀梨」(34%)と「松葉がに(ズワイガニ)」(31%)が中心で、「ぶどう」「イチゴ」「メロン」(各18%)のフルーツが続く。
- ◆ すべての指標で、「二十世紀梨」と「松葉がに(ズワイガニ)」が上位にランキングされる。この4年間で、ほぼ同様の傾向で推移している。
- ◆ 時系列で見ると、全般に「食用意向」の微減傾向がみられる。その中で、減少傾向が続いていた「松葉がに(ズワイガニ)」はやや持ち直している。

Q12. 鳥取県が主な産地である「農産物・畜産物・水産物」で、あなたが[1]鳥取県が産地であることを知っているもの、[2]鳥取県産で食べたことがあるもの、[3]鳥取県産で食べてみたいと思うものをそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)

11



	(n)	2014年 (%)																									
		二十世紀梨	砂丘らっきょう	松葉がに(ズワイガニ)	すいか(大栄すいか、極実すいか、東伯がぶりこ)	乳牛・乳製品	ぶどう(巨峰、ピオーネ、シャインマスカット)	ながりも(砂丘ながりも、ねがりっこ)	メロン(倉吉プリンス)	鳥取地どりピヨ、大山どり(鶏肉)	イチゴ(紅ほっぺ、章姫)	シロイカ、ホタルイカ	トビウオ(あご)	柿(西条柿、花御所柿、富有柿、輝太郎、あんぼ柿)	新品種梨(なつひめ、新甘泉、秋栄、王秋)	白ねぎ(伯州美人)	イワガキ(夏輝)	ハタハタ(白はた、とろはた)	鳥取和牛(オレイン55)	大山ブロッコリー	米(きぬむすめ、日野郡産コシヒカリ)	大山ルビー(豚肉)	椎茸(乾しいたけ)	モサエビ	クロマグロ	アカガレイ(あじろがれい)	ひとつもない
2014年	認知 (5400)	66.9	40.0	34.6	15.6	16.7	7.6	14.3	8.4	11.9	6.7	8.5	6.1	4.4	9.9	6.5	6.0	4.0			4.8	4.0	3.6	3.6	4.2	24.8	
	食用経験 (5400)	54.2	16.7	20.8	9.5	12.5	3.8	6.7	3.6	5.3	4.1	4.9	3.0	1.8	5.3	3.3	3.4	0.9			1.4	1.9	1.7	1.5	2.4	39.4	
	食用意向 (5400)	39.9	23.6	38.4	24.3	19.7	22.0	22.5	25.3	21.9	19.9	17.3	18.0	24.8	17.6	22.3	17.7	22.4			21.7	15.1	17.1	25.4	15.7	21.4	
2012年	認知 (5400)	64.5	36.5	28.5	13.6	12.7	11.6	10.5	11.1	7.9	8.4	7.9	8.0	7.2	5.9	6.7	5.1	4.7	5.3	3.9		3.7	3.6	3.3	3.2	3.0	27.1
	食用経験 (5400)	51.6	14.4	17.1	8.4	9.5	7.2	5.4	5.3	3.7	4.8	4.8	4.5	4.2	2.8	3.1	2.5	2.4	1.6	1.2		1.1	1.6	1.8	1.3	1.6	41.5
	食用意向 (5400)	37.8	19.3	33.6	20.8	16.8	23.2	16.8	23.5	20.2	24.0	18.3	13.8	15.8	21.4	14.6	19.1	13.9	23.4	13.0		18.7	12.5	13.6	20.3	12.4	23.7
2013年	認知 (5400)	63.6	34.5	26.2	13.3	10.8	11.1	10.0	9.1	8.3	7.6	7.1	8.1	6.8	6.1	5.6	4.8	4.6	5.6	3.6		3.9	3.6	3.5	3.3	2.7	28.3
	食用経験 (5400)	49.0	13.0	14.6	8.1	7.9	6.6	5.2	4.1	4.1	4.4	3.9	4.4	3.7	2.8	2.4	2.2	2.1	1.6	1.1		1.3	1.6	1.5	1.2	1.4	44.2
	食用意向 (5400)	36.1	16.2	27.8	17.6	13.2	19.9	14.7	18.8	17.9	20.1	15.1	12.2	12.8	18.2	11.7	15.7	12.2	20.6	10.4		15.7	9.8	11.4	16.4	10.4	28.6
2014年	認知 (5400)	64.1	36.2	29.6	12.5	11.4	10.1	9.7	8.1	7.9	7.3	6.8	6.4	6.1	5.2	5.0	4.9	4.6	4.2	3.5	3.4	3.3	3.2	3.2	2.9	2.5	27.3
	食用経験 (5400)	48.2	12.9	16.1	7.6	7.9	5.6	5.1	3.6	4.1	4.6	3.8	3.3	3.2	2.3	2.1	2.1	2.3	1.5	1.0	1.5	1.1	1.6	1.4	1.1	1.3	43.5
	食用意向 (5400)	33.8	16.0	30.5	15.3	12.2	18.3	13.8	17.8	15.0	17.9	14.7	9.7	11.3	15.5	10.1	15.8	10.5	15.9	7.9	10.0	13.3	8.0	9.9	16.7	9.1	28.2

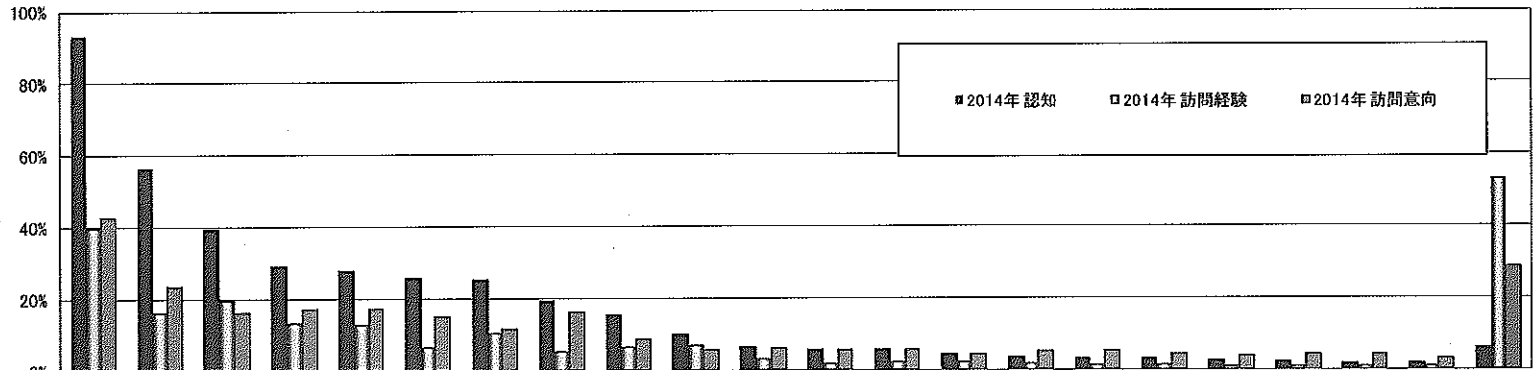
※「鳥取地どりピヨ、大山どり(鶏肉)」は、2011年は「鳥取地どりピヨ」「大山どり」を別々に聴取(2011年のスコアは「大山どり」のスコア)

【対象者: 全員】

3-3. 鳥取県の「観光地」の認知・訪問経験・訪問意向 (1) 全体一覽

- ◆ 『鳥取県』の「観光地」等の認知率をみると、「鳥取砂丘」(93%)の浸透度が突出傾向。「水木しげるロード」(56%)、「大山」(39%)が続キトップ3。
- ◆ 訪問経験のある場所でも「鳥取砂丘」(39%)、「大山」(19%)、「水木しげるロード」(16%)がトップ3で、ほぼ半数(47%)がいずれか訪問している。
- ◆ また、7割強がいずれか訪問意向を示し、「鳥取砂丘」(43%)、「水木しげるロード」(23%)、「皆生温泉」(17%)、「三朝温泉」(17%)等が上位。
- ◆ 認知・訪問経験、今後の訪問意向の全てで、「鳥取砂丘」「水木しげるロード」が上位に拵がり、鳥取県の大きな観光地として浸透している。
- ◆ 時系列でみると、3つのどの指標もほぼ同様の傾向で推移している。但し、「水木しげるロード」の訪問意向率は微減傾向にある。

Q13.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1]知っているもの、[2]行ったことがあるもの、[3]行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)



		(n)																						
		鳥取砂丘	水木しげるロード	大山	皆生温泉	三朝温泉	はいわい温泉・東郷温泉	白兎海岸・白兎神社	砂の美術館	とっとり花回廊	浦富海岸	倉吉白壁土蔵群	青山剛昌ふるさと館	三徳山三佛寺投入堂	中国庭園燕趙園	仁風閣と鳥取城跡	金持神社	智頭宿 (石谷家住宅、芦津溪谷)	植田正治写真美術館	鳥取民藝美術館	鹿野往来(城下町)	青谷上寺地遺跡	むきばんだ史跡公園と	ひとつもない
2011年	認知 (5400)	93.6	59.2	46.9	33.5	31.3	22.1	32.4	13.1	17.5	12.5	7.1	5.1	6.6	5.1	5.4	3.6	2.5	2.7		1.8	2.2	5.0	
	訪問経験 (5400)	40.7	15.7	24.2	16.4	14.7	6.8	12.8	3.4	7.3	8.1	3.0	1.1	2.5	2.5	2.2	0.8	0.9	0.9		0.5	0.6	51.6	
	訪問意向 (5400)	46.5	34.1	23.3	24.5	24.1	19.5	19.8	19.3	14.0	10.4	9.9	9.4	9.8	8.8	11.7	9.5	7.7	7.2		6.9	7.0	20.8	
2012年	認知 (5400)	93.4	59.1	40.1	28.8	27.4	24.5	28.5	16.6	15.4	11.7	7.9	5.7	6.1	4.9	4.1	3.4	1.8	2.6		2.1	1.9	5.3	
	訪問経験 (5400)	36.7	14.3	20.7	13.6	12.1	6.1	10.8	3.5	5.9	7.2	3.4	0.9	2.1	2.3	1.8	0.8	0.6	0.5		0.7	0.4	56.2	
	訪問意向 (5400)	47.6	31.6	19.4	19.4	19.5	18.0	15.2	20.5	12.1	8.4	10.0	8.4	8.3	7.5	7.9	7.5	5.9	5.8		7.5	5.5	24.0	
2013年	認知 (5400)	92.0	55.5	37.5	28.1	25.5	23.0	26.4	18.1	14.1	11.6	7.1	5.4	5.5	4.5	4.1	3.4	1.9	2.8		1.7	1.8	6.7	
	訪問経験 (5400)	38.2	15.3	19.3	13.5	11.8	5.7	9.9	4.5	5.5	7.3	3.3	0.9	2.2	2.4	1.8	1.1	0.6	0.8		0.6	0.6	54.4	
	訪問意向 (5400)	42.4	26.5	15.9	16.6	16.0	14.3	12.9	17.7	9.5	7.0	7.7	6.6	6.2	5.0	5.7	6.2	4.6	4.8		5.6	4.0	28.1	
2014年	認知 (5400)	93.1	56.2	39.3	28.8	27.5	25.4	24.8	19.2	15.3	9.8	6.1	5.5	5.2	4.1	3.0	3.0	2.7	2.4	2.0	1.4	1.4	5.6	
	訪問経験 (5400)	39.4	16.2	19.3	13.2	12.6	6.2	9.9	5.0	6.3	6.5	3.0	1.3	2.0	2.0	1.3	0.9	1.1	0.6	0.7	0.8	0.4	52.9	
	訪問意向 (5400)	42.7	23.4	15.9	17.0	16.7	14.6	11.5	16.1	8.4	5.6	5.9	5.4	5.1	4.2	4.8	4.9	4.0	3.4	3.9	4.2	2.9	28.4	

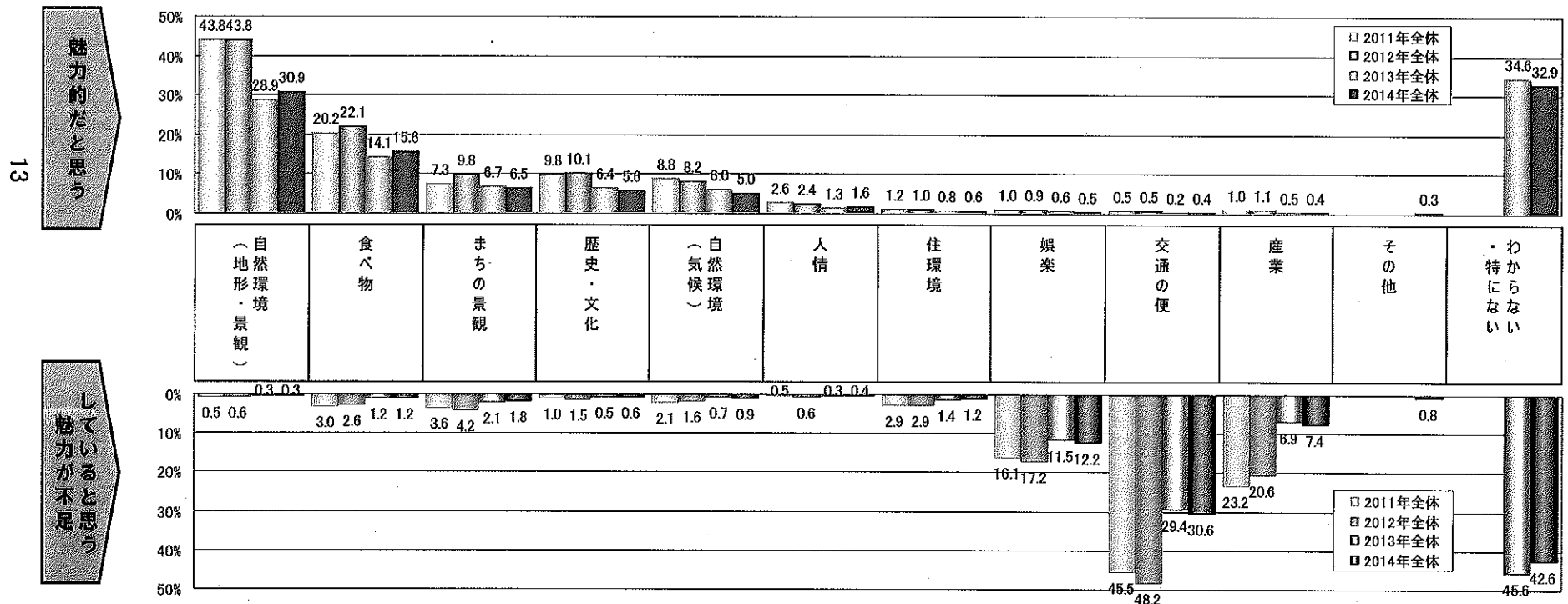
※「智頭宿(石谷家住宅、芦津溪谷)」は、2011年・2012年・2013年は「石谷家住宅」で聴取。 ※「むきばんだ史跡公園と青谷上寺地遺跡」は、2011年・2012年は「むきばんだ史跡公園」で聴取。

【対象者：全員】

3-4. 鳥取県の魅力点と魅力不足点 (1)全体一覧

- ◆ 『鳥取県』に関して【魅力的だと思うもの】は、「自然環境(地形・景観)」(31%)が最も高い。以下、スコアは半減するが「食べ物」(16%)、「まちの景観」(7%)、「歴史・文化」(6%)の順で続く。
- ◆ 一方、【魅力が不足していると思うもの】では、「交通の便」(31%)が1位。次いで、「娯楽」(12%)、「産業」(7%)となっている。
- ◆ 時系列でみると、【魅力点】で昨年落ち込んだ「自然環境」と「食べ物」がやや持ち直した。一方で「歴史・文化」「自然環境」などは微減傾向が継続。一方、【魅力が不足している点】に関しては、総じてほぼ昨年並み。依然として「交通の便」が最大ネックという点は変わらない。

Q14. 鳥取県について、[1]魅力的だと思うもの、[2]魅力が不足していると思うもの、をそれぞれ1つ選んでください。(それぞれひとつだけ)



※「歴史・文化」は、2011年は「歴史・伝統」「文化」を別々に聴取(2011年は「歴史・伝統」のスコア)

【対象者:全員】(n=5400)

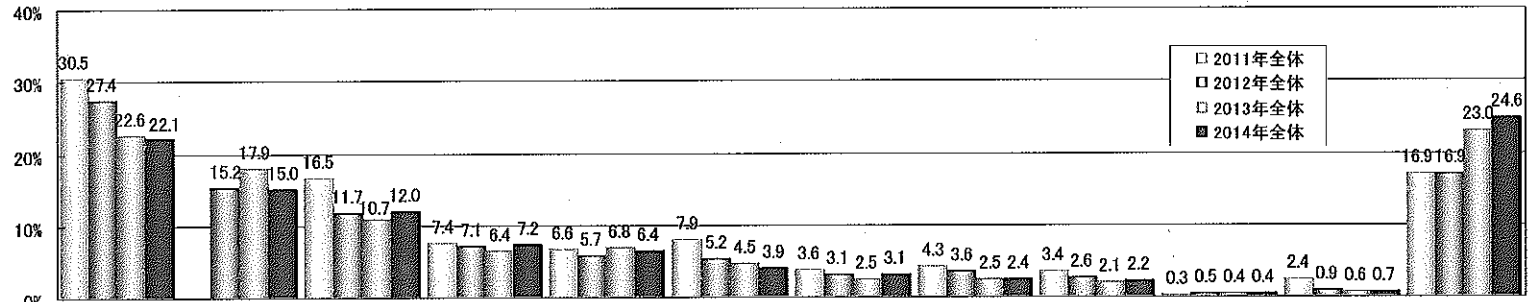
※その他は今年から聴取

3-5. 鳥取県の魅力向上に必要な分野

- ◆ 今後、『鳥取県』の魅力を高めていくために、力を入れていく必要があると思う分野は、「交通網の整備」(22%)がトップ。以下、「情報発信・PR・知名度アップ」(15%)、「観光地の整備など観光対策の強化」(12%)の順で続いている。
- ◆ 時系列で見ると、「情報発信・PR・知名度アップ」が3ポイント減で2012年レベルに戻ったが、昨年と比べて全体的にはそれほど変化はみられない。ただ、「わからない・特にない」との回答が、2012年以降で増加傾向が続いている。
- エリア別による違いはみられない。

Q15. 鳥取県の魅力を高めていくためには、どのような分野に力を入れていく必要があると思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

14



(n)		交通網の整備	情報発信・PR・知名度アップ	観光地の整備など	街並み・景観の向上	特産品づくり	自然環境の保護	企業誘致	地域の文化の掘りおこし	国際文化・スポーツの関連	教育文化施設の整備	その他	わからない・特にない	(%)	
2011年全体	(5400)	30.5	15.2	11.7	7.4	6.6	7.9	3.6	4.3	3.4	0.3	2.4	16.9		
2012年全体	(5400)	27.4	17.9	10.7	7.1	5.7	5.2	3.1	3.6	2.6	0.5	0.9	16.9		
2013年全体	(5400)	22.6	15.0	12.0	7.2	6.4	3.9	3.1	2.5	2.2	0.4	0.7	23.0		
2014年全体	(5400)	22.1	16.5	12.0	7.2	6.4	3.9	3.1	2.4	2.2	0.4	0.7	24.6		
エリア	首都圏	(2400)	19.2	16.6	11.7	7.0	7.0	3.6	2.8	2.4	2.0	0.5	1.0	26.3	
	関西圏	(900)	24.3	12.7	12.7	7.0	6.3	4.8	3.0	2.8	3.4	0.4	0.4	22.1	
	中京	(300)	25.0	11.0	12.7	7.0	5.0	3.0	3.0	4.0	3.7	-	-	25.7	
	中国・四国	(1500)	25.1	14.4	12.3	8.0	5.7	3.9	3.5	2.1	1.7	0.4	0.5	22.5	
	九州圏	(300)	22.0	15.7	10.0	6.0	6.0	4.3	3.7	1.3	1.3	0.3	0.7	28.7	

※「情報発信・PR・知名度アップ」は、2012年は「情報発信」で聴取

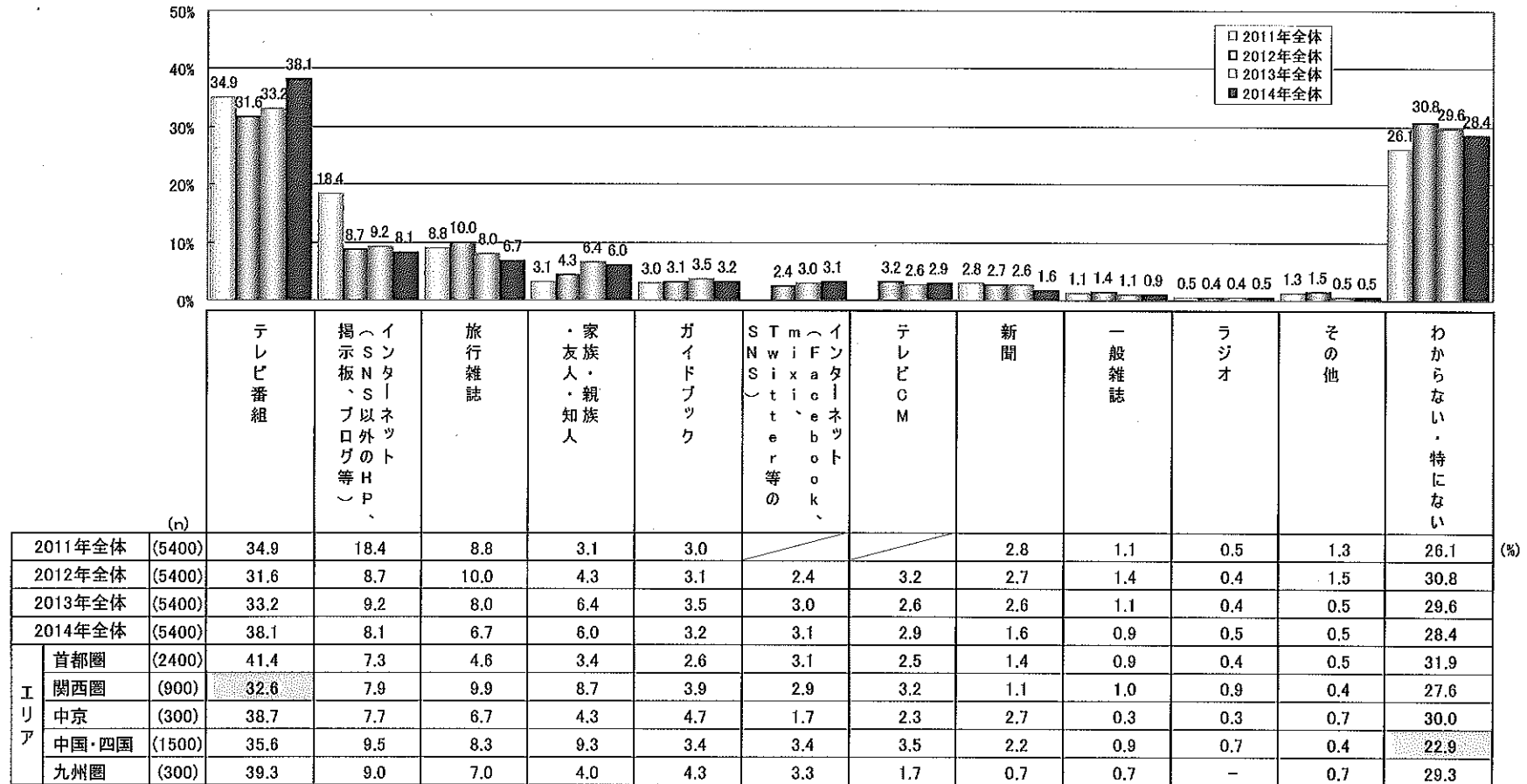
【対象者:全員】

3-6. 鳥取県に関する主な情報入手経路

- ◆ 『鳥取県』に関する情報の主な入手経路をみると、「テレビ番組」が4割近く(38%)を占めており主要情報源となっている。以下、「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」「旅行雑誌」「家族・親族・友人・知人」(6%)などが続く。
- ◆ 時系列でみると、「テレビ番組」が昨年から4.9ポイント上昇しており、この4年間でも特に高い。それ以外はほぼ昨年並みでそれほど動きはみられない。
 - エリア別にみると、主要の「テレビ番組」からの入手が関西圏でやや落ちる。

Q16. あなたは、鳥取県に関する情報を、どこから得ることが多いですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

15



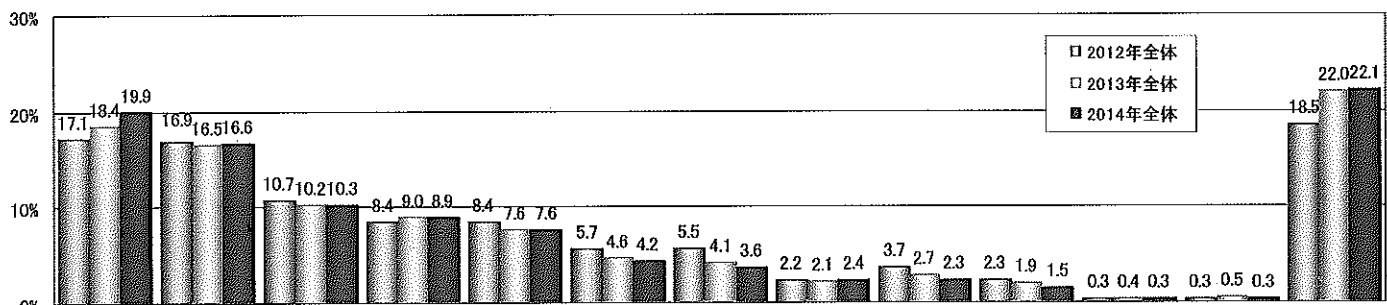
※「テレビ番組」「テレビCM」は、2011年は「テレビ」で聴取 ※「家族・親族・友人・知人」は、2011年・2012年は「口コミ」で聴取
 ※「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」「インターネット(Facebook、mixi、Twitter等のSNS)」は、2011年は「インターネット」で聴取

【対象者：全員】

3-7. 鳥取県について得たい情報

- ◆ 『鳥取県』に関して、今後最も得たいと思う情報を1つだけ選んでもらったが、「グルメ」(20%)がトップ、「観光」(17%)が2位。以下、「温泉」(10%)、「特産・名産」(9%)、「景観・景勝」(8%)と続いている。
- ◆ 時系列で見ると、「グルメ」の上昇傾向が続いており、2位「観光」との差が広がりつつある。一方、「イベント」「歴史・文化」などが微減傾向。
 - ▶ エリア別にみてもあまり違いはみられない。各エリアとも「グルメ」「観光」中心は変わらないが、九州圏は「観光」が1位となっている。

Q25. 鳥取県について、あなたは、今後どのような情報を得たいですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



		(n)	グルメ (%)	観光 (%)	温泉 (%)	特産・名産 (%)	景観・景勝 (%)	歴史・文化 (%)	イベント (%)	宿泊施設 (%)	アクセス (%)	ツアー (%)	移住・定住 (%)	その他 (%)	わからない・特にない (%)
2012年全体		(5400)	17.1	16.9	10.7	8.4	8.4	5.7	5.5	2.2	3.7	2.3	0.3	0.3	18.5
2013年全体		(5400)	18.4	16.5	10.2	9.0	7.6	4.6	4.1	2.1	2.7	1.9	0.4	0.5	22.0
2014年全体		(5400)	19.9	16.6	10.3	8.9	7.6	4.2	3.6	2.4	2.3	1.5	0.3	0.3	22.1
エリア	首都圏	(2400)	18.4	16.8	7.4	9.5	8.5	5.2	2.2	2.2	2.2	1.7	0.3	0.4	25.3
	関西圏	(900)	21.7	14.7	12.6	10.1	7.6	3.8	3.8	3.0	2.2	0.7	0.3	0.2	19.4
	中京	(300)	18.0	18.3	10.0	7.7	10.3	4.0	4.3	1.0	1.3	3.0	-	-	22.0
	中国・四国	(1500)	22.4	16.2	13.5	7.7	5.7	3.1	5.5	2.7	2.6	1.5	0.3	0.3	18.2
	九州圏	(300)	15.7	20.7	10.7	7.3	6.7	3.7	3.7	1.3	3.0	1.3	1.0	0.3	24.7

【対象者:全員】

4-1. 鳥取県への訪問意向

- ◆ 『鳥取県』への訪問意向をみると、4人中3人(74%)が「行ってみたい」と答えた。
- ◆ 時系列でみると、「行ってみたい」は昨年から1ポイント増。この3年間はほぼ同水準で推移。
 - ▶ エリア別に見ると、関西圏と中国・四国の訪問意向率(79%)がやや高くなっている。
 - ▶ エリア×年代別では、各エリアも比較的高年層の訪問意向が高い。特に中京、中国・四国の60代以上で顕著。一方、首都圏、九州圏の10代では50%台に落ちる。

Q17. あなたは、鳥取県に行ってみたくいと思いますか。(ひとつだけ)

17

		(n)	行ってみたい (%)	行きたくない (%)
2011年全体		(5400)	78.2	21.8
2012年全体		(5400)	75.0	25.0
2013年全体		(5400)	73.1	26.9
2014年全体		(5400)	74.1	25.9
エリア×年代	首都圏	(2400)	69.4	30.6
	10代	(154)	55.8	44.2
	20代	(646)	68.4	31.6
	30代	(400)	71.3	28.8
	40代	(400)	70.0	30.0
	50代	(400)	69.8	30.3
	60代以上	(400)	73.3	26.8
	関西圏	(900)	79.1	20.9
	10代	(87)	71.3	28.7
	20代	(213)	78.4	21.6
	30代	(150)	75.3	24.7
	40代	(150)	84.0	16.0
	50代	(150)	78.7	21.3
	60代以上	(150)	84.0	16.0
	中京	(300)	76.3	23.7
	10代	(37)	78.4	21.6
	20代	(63)	69.8	30.2
	30代	(50)	72.0	28.0
	40代	(50)	78.0	22.0
	50代	(50)	76.0	24.0
60代以上	(50)	86.0	14.0	

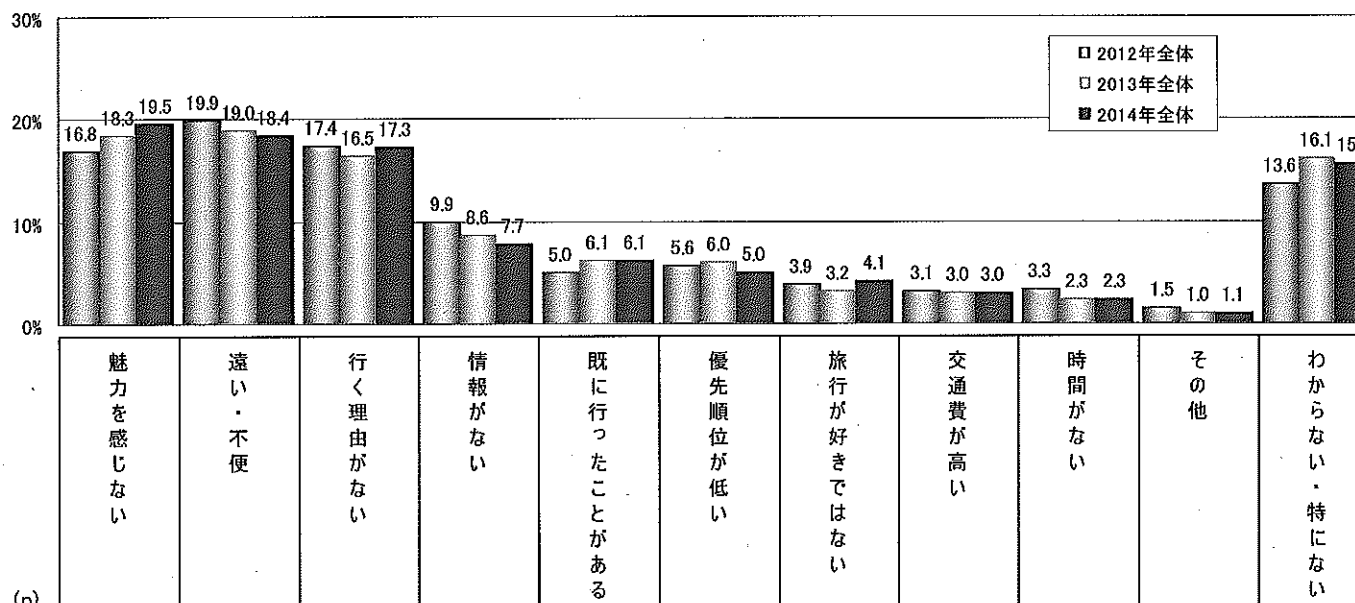
		(n)	行ってみたい (%)	行きたくない (%)
2011年全体		(5400)	78.2	21.8
2012年全体		(5400)	75.0	25.0
2013年全体		(5400)	73.1	26.9
2014年全体		(5400)	74.1	25.9
エリア×年代	中国・四国	(1500)	79.1	20.9
	10代	(49)	73.5	26.5
	20代	(425)	76.0	24.0
	30代	(276)	76.1	23.9
	40代	(250)	82.0	18.0
	50代	(250)	80.0	20.0
	60代以上	(250)	85.2	14.8
	九州圏	(300)	68.7	31.3
	10代	(31)	54.8	45.2
	20代	(69)	63.8	36.2
	30代	(50)	63.0	32.0
	40代	(50)	78.0	22.0
	50代	(50)	68.0	32.0
	60代以上	(50)	76.0	24.0

【対象者:全員】

4-2. 鳥取県への非訪問意向理由

- ◆ 前問で『鳥取県』に「行きたくない」と回答した人の理由をみると、「魅力を感じない」(20%)、「遠い・不便」(18%)、「行く理由がない」(17%)が上位。
- ◆ 時系列でみると、「魅力を感じない」が年々微増し今回トップとなる。一方、「遠い・不便」との意識は微減傾向。また、「情報がない」も微減傾向。
 - エリア別でみると、九州圏で「行く理由がない」、中京で「情報がない」との理由がそれぞれやや高い。

Q18. ■前問で「行きたくない」とお答えの方にお伺いします■その理由は何ですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



(n)		魅力を感じない	遠い・不便	行く理由がない	情報がない	既に行ったことがある	優先順位が低い	旅行が好きではない	交通費が高い	時間がない	その他	わからない・特にない	(%)
2012年全体 (1348)		16.8	19.9	17.4	9.9	5.0	5.6	3.9	3.1	3.3	1.5	13.6	
2013年全体 (1450)		18.3	19.0	16.5	8.6	6.1	6.0	3.2	3.0	2.3	1.0	16.1	
2014年全体 (1401)		19.5	18.4	17.3	7.7	6.1	5.0	4.1	3.0	2.3	1.1	15.6	
エリア	首都圏 (735)	20.8	20.1	17.6	8.6	3.7	5.3	2.4	4.4	1.0	0.7	15.5	
	関西圏 (188)	18.1	13.8	17.6	7.4	7.4	4.8	8.5	1.6	3.2	0.5	17.0	
	中京 (71)	19.7	22.5	14.1	14.1	4.2	2.8	2.8	1.4	4.2	1.4	12.7	
	中国・四国 (313)	17.6	16.3	15.7	4.8	10.9	5.4	5.8	1.3	4.2	2.6	15.7	
	九州圏 (94)	18.1	18.1	22.3	6.4	8.5	3.2	3.2	2.1	3.2	-	14.9	

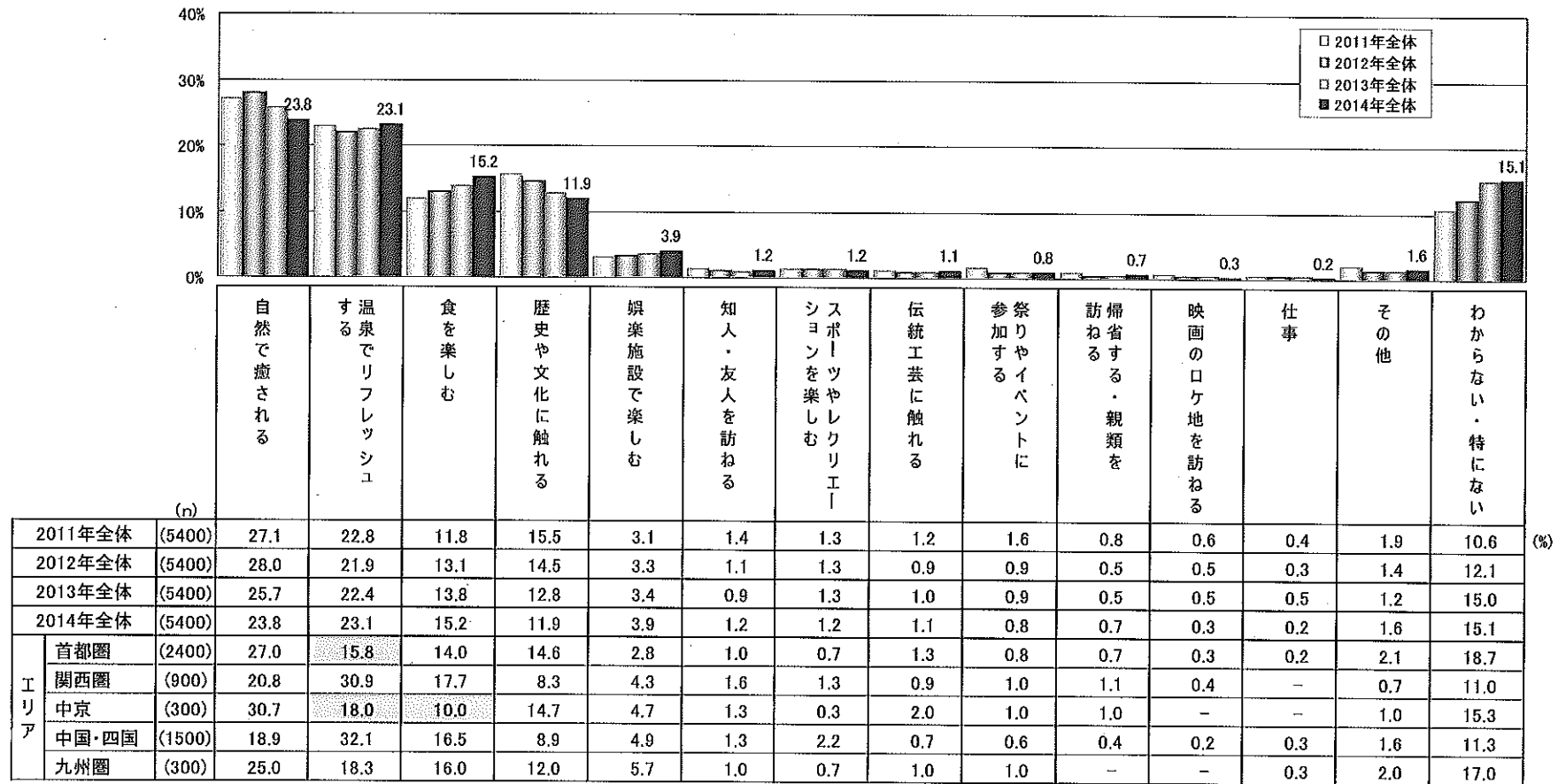
【対象者：鳥取県へ非訪問意向者】

4-3. 鳥取県への訪問時の主要目的

- ◆ 今後、『鳥取県』を訪れる際の最大目的1つをみると、「自然で癒される」(24%)と「温泉でリフレッシュする」(23%)が拮抗、両者で半数弱を占める。次いで「食を楽しむ」(15%)、「歴史や文化に触れる」(12%)が1割台で続いている。
- ◆ 時系列でもそれほど傾向は変わらないが、トップの「自然で癒される」はこの3年間では減少気味。また、「歴史や文化に触れる」も減少傾向が続く。逆に「食を楽しむ」が年々アップしてきている。
- エリア別にみると、中京で「自然で癒される」がやや高い。また、「温泉でリフレッシュする」との目的は関西圏、中国・四国でやや高く、首都圏、中京でやや低い。

Q19. 今後、鳥取県を訪れるとした場合、何を目的に訪れたいですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

19



【対象者:全員】

4-4. 鳥取県への訪問意向ランキング順位

- ◆ 行ってみたい都道府県としての『鳥取県』のランキングをみると、「21～30位」(30%)が最多。「31～47位」(29%)、「11～20位」(28%)が同程度。「1～10位」は13%にとどまる。
- ◆ 時系列でみると、「11～20位」が昨年から7.5ポイント増で過去最高。逆に「31～47位」が10.1ポイント減で最も低い。11位～47位は分散してきた。
 - エリア別にみると、「11～20位」の割合は関西圏でやや高く、九州圏で最も低い。その結果、関西圏では「20位以内計」が半数を占めており、他エリアに比べて高い。
 - エリア×年代別では、「1～10位」に挙げた人の割合は、関西圏60代以上で1/4と顕著。また、中京、中国・四国の60代以上は「11位～20位」が4割前後と高いが目立つ。

Q20. あなたが行ってみたい都道府県を、1位から47位までランキング順位付けした場合、鳥取県のランキングは概ねどのあたりですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

20

		(n)	1～10位	11～20位	21～30位	31～47位
2011年全体		(5400)	13.0	24.6	30.6	31.8
2012年全体		(5400)	13.5	22.8	28.9	34.8
2013年全体		(5400)	11.7	20.7	28.6	39.0
2014年全体		(5400)	12.5	28.2	30.4	28.9
エリア×年代	首都圏	(2400)	10.2	25.7	30.6	33.5
	10代	(154)	8.1	22.1	33.8	35.1
	20代	(646)	11.0	27.1	30.0	34.8
	30代	(400)	14.1	28.3	33.3	30.8
	40代	(400)	11.0	21.5	32.3	35.3
	50代	(400)	11.3	22.8	30.0	35.5
	60代以上	(400)	16.3	29.3	26.5	30.0
	関西圏	(900)	15.0	34.1	30.4	19.7
	10代	(87)	10.3	29.9	36.8	23.0
	20代	(213)	11.7	34.3	29.1	24.9
	30代	(150)	10.0	30.7	32.7	20.7
	40代	(150)	14.7	32.7	31.3	21.3
	50代	(150)	17.3	38.0	32.7	12.0
	60代以上	(150)	24.0	37.3	23.3	15.3
	中京	(300)	17.7	28.7	32.7	31.0
	10代	(37)	27.1	27.0	43.2	27.0
	20代	(63)	13.3	27.0	33.3	33.3
	30代	(50)	11.0	28.0	28.0	42.0
	40代	(50)	10.0	22.0	36.0	34.0
	50代	(50)	14.0	26.0	32.0	28.0
60代以上	(50)	18.0	42.0	26.0	20.0	

		(n)	1～10位	11～20位	21～30位	31～47位
2011年全体		(5400)	13.0	24.6	30.6	31.8
2012年全体		(5400)	13.5	22.8	28.9	34.8
2013年全体		(5400)	11.7	20.7	28.6	39.0
2014年全体		(5400)	12.5	28.2	30.4	28.9
エリア×年代	中国・四国	(1500)	18.3	29.9	29.7	25.3
	10代	(49)	14.9	26.5	24.5	30.6
	20代	(425)	12.6	28.9	32.0	26.6
	30代	(276)	13.0	25.7	30.1	30.4
	40代	(250)	12.6	28.4	33.6	26.0
	50代	(250)	16.3	28.4	29.2	24.0
	60代以上	(250)	20.0	39.6	22.8	16.8
	九州圏	(300)	10.3	22.7	30.3	34.7
	10代	(31)	11.0	9.7	32.3	38.7
	20代	(69)	11.7	21.7	34.8	37.7
	30代	(50)	12.0	18.0	40.0	30.0
	40代	(50)	12.0	24.0	30.0	34.0
	50代	(50)	12.0	26.0	22.0	40.0
60代以上	(50)	16.0	32.0	22.0	28.0	

【対象者：全員】

4-5. 鳥取県の満足度

- ◆ 『鳥取県』への訪問経験者、または居住経験者に、他の都道府県と比べて『鳥取県』の「おもてなし」に対する満足度を聞いたが、「非常に満足」が4%、「概ね満足」が30%で、3人に1人(34%)が「満足」と評価。全体的には「普通」評価が6割強を占めており主流。
- ◆ 時系列でみると、昨年に比べて「満足計」は2.8ポイント増、2012年レベルに近づく。
 - エリア別にみると、他のエリアに比べて九州圏の満足度がやや低めの傾向。
 - エリア×年代別では、首都圏20代、関西圏10・20代の若年層の満足度が高くなっている。一方、九州圏60代以上では1割程度と低い。(サンプル数些少の属性は参考値)

Q21. ■鳥取県を「訪れたことがある」又は鳥取県に「居住したことがある」とお答えの方にお伺いします■
 他の都道府県と比べ鳥取県(県民・施設・店舗等)のあなたに対する「おもてなし」はいかがでしたか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

	(n)	満足度 (%)					満足計
		非常に満足	概ね満足	普通	概ね不満	非常に不満	
2012年全体	(2437)	4.0	33.0	57.5	4.9	0.6	37.0
2013年全体	(2634)	3.4	27.4	63.9	4.4	0.9	30.8
2014年全体	(2684)	3.3	29.7	62.3	3.1	1.0	33.6
エリア×年代							
首都圏	(718)	4.6	30.1	61.3	2.5	0.7	34.5
10代	(28)	14.3	21.4	50.0	7.1	7.2	35.7
20代	(138)	7.2	39.8	45.7	7.2	0	47.1
30代	(94)	5.3	39.0	58.5	8.2	0	38.3
40代	(117)	5.1	24.8	66.7	8.4	0	29.9
50代	(130)	4.6	22.3	72.3	7.8	1.5	24.6
60代以上	(211)	1.9	31.3	64.5	4.1	0.5	33.2
関西圏	(638)	3.6	32.8	60.0	3.1	0.5	36.4
10代	(35)	2.9	42.0	51.4	2.9	0	45.7
20代	(133)	5.3	36.8	55.6	2.3	0	42.1
30代	(103)	3.9	31.1	60.2	3.9	1.0	35.0
40代	(115)	4.6	35.7	56.5	3.7	0	38.3
50代	(125)	4.6	30.4	64.0	4.0	0	32.0
60代以上	(127)	4.7	26.8	66.1	2.4	0	31.5
中京	(116)	4.3	26.7	66.4	2.6	0	31.0
10代	(9)	0	33.3	66.7	0	0	33.3
20代	(20)	0	40.0	55.0	5.0	0	40.0
30代	(23)	13.0	33.0	73.9	0	0	26.1
40代	(16)	0	18.8	68.8	12.5	0	18.8
50代	(19)	5.3	31.6	63.2	0	0	36.8
60代以上	(29)	3.4	27.6	69.0	0	0	31.0
中国・四国	(1079)	3.3	29.2	62.9	3.1	1.5	32.5
10代	(20)	15.0	40.0	45.0	0	0	55.0
20代	(256)	5.9	30.5	58.2	3.5	0	36.3
30代	(192)	3.6	33.3	57.9	3.6	0	37.0
40代	(186)	1.1	30.1	65.6	1.6	0	31.2
50代	(203)	4.0	25.6	65.5	4.4	0	27.6
60代以上	(222)	7.3	25.7	69.8	2.3	0	27.9
九州圏	(133)	5.3	20.3	69.9	2.3	0	25.6
10代	(9)	22.2	11.1	55.6	0	0	33.3
20代	(29)	6.9	31.0	55.2	6.9	0	37.9
30代	(17)	11.8	17.6	70.6	0	0	29.4
40代	(23)	0	30.4	60.9	4.3	0	30.4
50代	(24)	4.2	16.7	75.0	0	0	20.8
60代以上	(31)	0	9.7	90.3	0	0	9.7

【対象者：鳥取県に訪問・居住経験者】

